

本堂再建事業概要

法海寺本堂平成修復基金勧進のお願い

法薄寺は天智天皇の勅願により、天智7年(1,323年前)「薬王山法海寺」の寺号と勅額、寺領280町歩を賜り、日本三薬師の一つとして創建されたもので、創立時は白鳳期の七堂伽藍配置をなし、堂塔宇は壯観を極めたといわれています。

しかし時代とともに衰頽・廃頽の変遷を経、とくに文禄・慶長時代には度々の兵火にあい、現在の遺構となりました。而し法灯は往古の修法が其のまま受けつがれ皆様方の如意吉祥の祈願所として伝承されて参りました。

現在、境内は、皆様方のご子弟の通学道路として、登下校に、また福社会館は、多くの方達の文化交流の場として、使用されております。

さらに境内の諸尊をまつる諸堂は、夫々の信仰を得ており、中でも法善堂、十王堂、常光院は、皆様方の御篤志により、近年再建することが出来ました。

本尊薬師如来をお祭りする本堂は、近年とくに老朽化が進み、雨もりが甚だしく存続にも危険な状態になって参りました。専門家の建物診断の結果は、早急な屋根修復が必要との判断があり、関係各位の協議結果、「法海寺本堂平成修復」の御賛同を得ました。

何分とも、皆様の絶大なる御協力・御支援なくしては成就いたしかねる大事業であり、特別の浄財のご喜捨を賜りたく、お願い申し上げます。

敬 白

平成2年9月1日